

計算条件： 最高水面（零位）
 隆起量： 平均 -0.17m(-0.45m ~ -0.04m)
 Zo： 0.40m ~ 0.85m
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

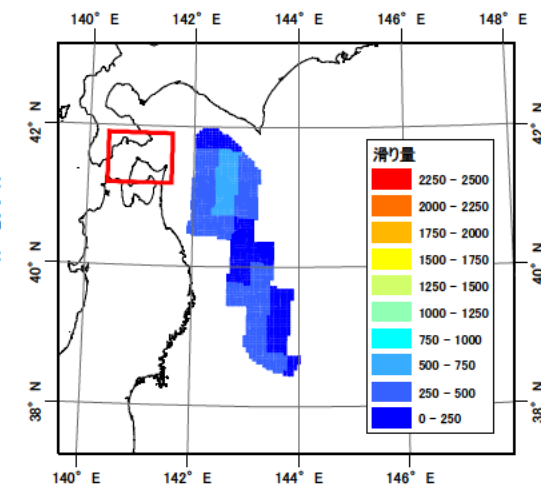
凡例

- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
 - 3m~
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満

- 進入時最大流 [knot]
- 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

- 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上の地点から表示した。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な区域では、流速のみを表示した。
- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点算出している。

断層モデル



三陸沖北部地震
 モーメントマグニチュードMw 8.4

本断層モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ